

I 経営の重点に関わること

1 学校教育目標 自己実現に向かって挑戦し、未来を切り拓くたくましい若者を育成する。		自己 評価	学校関係者評価委員から
2 重 点 目 標	(1) 教育活動の質を高め、学力の向上・定着を図る	A	A
	(2) 部活動を充実させ、心・技・体の人間力の向上を図る		
	(3) 生徒の進路希望実現に向けた取組・体制の充実を図る		
	<p>① 教科や指導方法などを工夫して「分かる授業」を行う。 【学校説明】生徒を対象にした授業アンケートの結果から、生徒の授業に対する取り組みに関する項目、教員の授業に対する生徒の評価に関する項目ともに、良い評価が8割を超えており、生徒は概ね授業に対して満足していると考えられる。授業の予習、宿題、復習の取り組みについては、改善傾向にある。</p> <p>② 基礎基本を重視するとともに思考力、判断力、表現力、主体的な学習態度を育成する。 【学校説明】多くの生徒は主体的にかつ真剣に授業に取り組み、模試や検定等で成果を挙げた。教員の授業については、今年度AL研究チームを発足させ、本校の特長であるICTの活用と連動させ、授業改善および評価改善につなげることができた。ALによる授業改善を推進し育成すべき能力の伸長に取り組んだ。</p> <p>① 部活動や特別活動等とおして、人間力を高める。 【学校説明】男子ハンドボール部・女子ハンドボール部・男子バレーボール部・陸上競技部・水泳部・簿記部・ワープロ部等、各部の活躍が見られた。また、全校応援への参加により、帰属意識が醸成できた。さらに部活動での社会貢献・地域貢献活動が活発に行われた。</p> <p>② 複数の部活動が全国レベルで活躍する。 【学校説明】上記部活動等は、全国大会・東海大会等に進出し、大いに活躍した。</p> <p>① 一人ひとりの社会的な自立に向け、キャリア教育を充実させる。 【学校説明】朝講習、夏期・冬期講習、センター直前講習の実施。進路選択に関する講演会、普通科の大学訪問、県立大学模擬授業、商業科の大学訪問・職場体験学習の実施、職場見学指導、進路体験報告会。成績を伸ばしてほしい科目を重点的に開講した(3年普通)、各英語検定は例年以上の成果を出すことができた(3年商業)、スタディサポートに実施により、学習状況、進路希望状況を把握することができた(1, 2年)、特進クラスの講習等への参加による進路学習により目標が具体化した(2年普通)、進路や生き方について改めて考えるきっかけを提供できた(2年商業)、講演とワークシートの活動を通して職業や進路について考えるきっかけになった(1年普通)、進路体験報告会にて、3年生から直接話を聞き、大いに刺激を受けた(1年商業)。</p> <p>② 大学進学希望者には自己実現に向け、国公立大学、有名私立大学など第一志望大学への合格が可能となるように指導を工夫する。 【学校説明】普通科は受験期間の真っ最中の生徒もおり、これからが本番である。既に推薦合格している商業科も合わせると国公立大学33名、私立大学175名、短期大学16名、専門学校36名の延べ合格者が決定している。(H29. 3. 16 現在)</p> <p>③ 個性を生かせるような職場、職種を選択し、就職希望者内定率100%を維持する。 【学校説明】就職希望者48名は既に内定済み。うち公務員には2名合格した。(H29. 3. 16 現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用で授業がわかりやすく、生徒の理解度や関心が高められ、確かな学力の定着が図られた。 「分かる授業」については、8割の教員、生徒ともに満足している店が評価できる。ただ、基礎基本の学習習慣が身につくようになると良い。 AL研究チームを発足し、積極的に取り組んでいたことを評価したい。ただそれが効果として表われたかを来年度の課題としたい。 教員の授業に対する取り組みに工夫が見られ、学力向上ができた。 部活動最大の目的は、成績だけではなく、3年間組織に所属し、日々鍛錬し、人間を磨くことである。 運動部、文化部ともに各部活の活躍がみられた。 人間力の向上についての取り組みは評価できる。 部活動は充実していて、ある程度の成果を挙げていると思う。 各学年の普通科、商業科、普通科特進クラスなど、各々が目標を設定し、取り組みが見られる。 生徒の進路に対する取り組み、体制は十分行われていると思う。特に就職については、先生方の取り組みの成果だと思う。 	

II 各指導部・領域に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価委員から	
1 教育課程 学習指導	(1) 確かな学力の定着 【共通項目1】	<p>基礎・基本の徹底と家庭学習の習慣化を図るとともに、ICTの活用などによるわかりやすい授業を実施する。 【学校説明】 昨年度に変更した教育課程を実施した。日々の授業を大切にしている指導を心がけるとともに、朝学習の充実や進路実現に結びつく講習や模試等の実施により、家庭学習の習慣に結びつく生徒が増加した。各教員が本校の特徴の一つであるICTの活用とアクティブラーニング研究チームによる公開授業により、授業改善や効率化、生徒の理解度や興味・関心をより高めることができた。 (普通科) 朝学習、朝講習、土曜講習、放課後講習(3年)、夏期講習、冬期講習。 【学校説明】 放課後の自習室として第1会議室を利用し、互いに切磋琢磨した(3年)、模試の受験や朝学習により、安易に推薦利用に流れない指導ができた(3年)、講習には特進クラスは全員参加とし、クラスとしての特長作りに努めた(2年)、授業以外の学習時間が充実した(1年)、日々の授業や課題を大切にしている指導をした(1年)。 (商業科) 朝学習、放課後講習、夏期講習、冬期講習、春期講習、特別補習。 【学校説明】 夏期講習は英・国(小論文)、面接対策の実施し、進路に結び付けた(3年)、放課後講習への参加により資格取得に活かすことができた(2年)、手帳の活用により、セルフマネジメント力が身に付く指導ができた(2年)、様々な進路に関する学習をすることの意義や目的を理解させ、主体的に取り組むことができた(1年)。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の徹底と家庭学習の習慣化やアクティブラーニング研究チームの公開授業により、生徒の理解度が深まっている。 朝学習や放課後講習などの学習を行うことで、意義や目的をもって取り組みができた。 授業内容を工夫して、生徒のやる気を出させる努力をしていると思う。 ICTを活用してわかりやすい授業をしていると思うが、他方でまだ十分ICTを活用できていない授業もあるのでは…と思う。
	(2) 道徳教育の充実 【共通項目2】	<p>① 各教科、科目において道徳教育に関わる単元・項目を考慮して授業展開を図る。 【学校説明】 学習習慣も含め、自主自立を目指して、学校全体で取り組んでいく必要がある。 ② 命の大切さや弱者へのいたわり、他人に対する奉仕のこころを養うためボランティア活動を奨励し、その為の啓発活動を推進する。 【学校説明】 パソコン・囲碁将棋・吹奏楽・生活研究・書道・報道、各部で地域貢献活動に参加した。 ③ 社会生活に必要な規範意識、マナー、生活態度等の指導。挨拶、言葉遣い、態度の育成。服装や頭髮等の身だしなみの育成。 【学校説明】 挨拶や時間厳守等、再度徹底が必要である。職員全体で取り組む体制を考えていきたい。</p>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の充実は、個々には見えないが、社会福祉の人に優しく、ボランティア活動を積極的に参加しているのを見ると、道徳心が向上していると感じる。 心の教育は、生徒たちにとっても重要である。予想不可能な時代こそ、今後ますます心が求められる時代になる。教員の生き様も大切である。 特別活動は、学校行事の最大の清桜祭、体育祭など各委員会の活動が見事に開花している。その他、読書会や百人一首大会など充実した活動が見られた。
	(3) 特別活動の充実 【共通項目3】	<p>さまざまな学校行事を通して、望ましい人間関係を形成する態度を育成する。 【学校説明】 各委員会が新たな活動を考え、総務委員会を中心に主体的な活動ができた。清桜祭・体育祭ともに、生徒が一体となり、成功させた。委員会活動も地道な活動を続け、自主性を育てるよう指導した。応援団の練習は週1回昼休み、月1回練習を継続した。男子の団員確保と練習時間の確保を目指したい。読書会や百人一首大会等も図書委員を中心に実施できた。</p>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動は、学校行事の最大の清桜祭、体育祭など各委員会の活動が見事に開花している。その他、読書会や百人一首大会など充実した活動が見られた。
2 生徒	(1) 一人ひとりを大切にした指導 【共通項目4】	<p>① 普段から生徒の言動に十分気を配り、また、一対一の面談をする機会を設け、目標に向けた取り組みを支援し、個々に適した対応を心掛けるとともに、こころの交流を図る。 【学校説明】 気になる生徒の把握に努め、該当生徒に手厚く指導できた。様々な課題を抱える生徒に担任をはじめ教員の丁寧な指導と情報共有を行い、教員相互の連絡を密にした。 ② 生徒相談・学校カウンセラーを効果的に活用し支援の必要な生徒に対して、適切に対応する。 【学校説明】 特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制を整備することができた。スクールカウンセラーへの相談は、相談枠の6割程度である。保健室での相談が多い。保健室が一緒になり、スムーズに対応できた。</p>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりを大切にしている指導は、教員相互の連絡を密にして、指導にあたっている。生徒指導、学校カウンセラーを効果的に活用し、特別支援教育カウンセラーへの相談はよくできている。 今後も一層の心配りをお願いしたい。

指導	(2) 望ましい生活態度・生活習慣	<p>① 挨拶の励行、端正な身装の保持、真摯な清掃態度の徹底を図り、基本的な生活習慣こそすべての基本と位置づけ、身に付けさせる。 【学校説明】挨拶の励行や全員清掃により、生徒の自主性の向上を図った。</p> <p>② 登校指導や学年集会時の講話等を通じて、ルールの大切さと守ることの重要性を認識させ、安易な遅刻や欠席を0(ゼロ)にする。 【学校説明】身装検査時のみ整える生徒がおり、指導を受け流す生徒がいる。改善に向けた指導を検討したい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 生活態度に関する指導は、他校と比較し、非常に良く実施している。 学校訪問の際には生徒の挨拶がよくできています。 桜が丘高校の売りのひとつである。 生徒のマナーは大変良いと思います。挨拶等、基本的な生活習慣はしっかりしている。
3 進路指導	一人ひとりの進路の実現	<p>① 生徒の進路希望実現のため、進学・就職において効果的な対策を研究、立案し、執行する。 【学校説明】普通科はスタディサポート、商業科は進路マップを使用し、生徒の学力状況を学年内で把握し、ベネッセからの報告会等により、各学年の担任間で情報を共有できた。</p> <p>② 「オープンキャンパス」や「職場体験学習」を通じて、生徒の進路に対する意識を養う。総合的な学習の時間やキャリアデザイン時間を生かし、進路決定(進学・就職)100%を目指す。 【学校説明】進学相談会への生徒引率、大学訪問(早稲田・明治・専修・静岡・聖隷クリストファー)、大学模擬授業、進路講演会、進学者面接一斉指導、小論文個別指導、進路体験報告会を実施した。</p>	A	A <ul style="list-style-type: none"> 職場体験学習、オープンキャンパスなどで、生徒が進路の方向性を見つけることができています。 就職率100%は素晴らしい。進学についても、着実な取り組みが見られて良い。 生徒の希望通りの進路に進んでいると思われるので、進路指導が的確に行われていると思う。
4 安全管理・指導	学校安全システムの構築 【共通項目5】	<p>① 生徒の交通安全に万全を期すため、交通安全教室や交通安全指導(登校指導)などで周りを常に意識した交通ルール・マナー遵守の徹底を図る。 【学校説明】交通事故は昨年度より増加した(4件H27→11件H28)。特に1年生が多かった。1件の事故も起きないように、安全に対する意識を持たせ、加害者になり得ることを集会等の講話で啓発し、事故防止に努めたい。</p> <p>② 「防災計画」を策定し、防災避難訓練を計画的に実施する。また生徒・職員の防災意識の高揚を努める。災害情報などを、携帯メールで配信する。 【学校説明】防災訓練は効果的に実施できた。日頃から防災教育を行うことができるよう計画したい。</p>	B	B <ul style="list-style-type: none"> 自転車の交通安全対策は、繰り返し何回もしつこく行う以外に方策はないと思う。人間教育、社会的弱者に対する教育と合わせて実行してほしい。 特に登校指導の交通ルール、マナーが生徒に理解されている。岡地区交通安全委員より、桜が丘高校生のマナーが良いと言われ、うれしい気持ちである。 地域の防災訓練にも参加し、自らの自助、共助の精神が育っている。
5 保健管理指導	健康教育の充実 【共通項目6】	<p>① 自ら正しい健康管理ができ規則正しい生活習慣を身につけさせるとともに、生徒の事故防止に努め、定期的に書虫駆除など実施し、環境衛生にも配慮する。 【学校説明】麻疹予防接種2年100%、1年98%、海外修学旅行実施に伴う旅行中の健康管理をより高く意識させたい。</p> <p>② 生徒の緊急時に備える為、教員に各種救急法を計画、実施する。 【学校説明】救命救急法(職員・生徒参加)、思春期セミナーは、興味関心を持ちやすい内容であった。</p> <p>③ 健康診断の結果、要治療生徒は必ず受診するように指導する。 【学校説明】虫歯その他の検診による要治療者への治療徹底を図ったが、受診率は50%程度であった。</p>	B	B <ul style="list-style-type: none"> 健康管理には生徒への手洗い・うがいの励行により、インフルエンザにかかる生徒が少ないことで、生活習慣が身につけていると思われる。 要治療者への治療の徹底には、部活動での指導との連携をしてはどうか。
6 特別支援教育	(1) 学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【共通項目7】	<p>① 教育相談に関わる研修を計画的に行う。 【学校説明】保健室来室状況は例年並みであり、落ち着いた利用ができた。登校してすぐ来室する生徒もおり対応に追われた。保健室のルールやマナーを理解させ、自己管理能力を身に付かせたい。</p> <p>② 特別支援の必要な生徒の発見に努める。 【学校説明】学校生活への個別の支援・注意を必要とする生徒への対応体制を整備している。</p> <p>③ 個に応じた特別支援の方法の研究、個別の支援計画の作成。 【学校説明】保健室・相談室・カウンセラー・担任との連携をより緊密にでき、情報共有できた。テレビや携帯電話を優先して睡眠不足になり、保健室等へ来室するケースが多かった。生活時間の見直しを指導した。</p>	A	A <ul style="list-style-type: none"> 支援体制づくりには、教育相談、研修会などを通じて、自己管理能力を高めている。 今後特別な支援を要する生徒の数は増加することが予想される。そうした生徒に対する研修や実際の支援について、支援計画の作成や研究を進めていく必要がある。

7	組織・運営の改善 【市共通項目8】	① 直面する教育課題を明らかにし、改善や解決に関する校内体制を整備するとともに、情報管理体制を構築し、ネットワークの活用を促進する。 【学校説明】4年目を迎え、アクティブラーニングの手法もあり、電子黒板を効果的に活用できた。クラッシーの導入を検討している。一方で機器の不具合も多発した。一括購入のPC等をリースに変更したい。 ② ネットワーク化による校内情報の高度な活用を実現する。 【学校説明】教職員ポータルサイトの活用により、施設予約システムを利用して、各課で積極的に利用できた。	B	A	・アクティブラーニングの効果も出て、授業の改善が図られた。
8	研修体制の充実 【市共通項目9】	① 校内研修テーマに沿った研修会を前期・後期年2回定期的実施すると共に、各種研修会・研究会・講演会などの情報提供を積極的に行なうように努める。 【学校説明】前期は「ほめ達について」、後期は「評価改善について」をテーマに研修を行い、参加しやすい環境に努めた。アクティブラーニング研究チームにより、公開授業・研究協議を実施した。 ② 授業公開週間を前期・後期年2回、3週間ずつ実施し、教員の教科指導力向上と生徒の実態把握を努める。 【学校説明】実施3年目となり期間中に授業見学が積極的に行われ、授業改善に役立つことができた。	A	A	・各種研修会、研究会、講演会などの情報提供が良かった。 ・研修体制は充実してきていると感じる。
9	信頼される学校づくりの推進 【市共通項目10】	① 本校の教育目標・方針や教育活動を積極的に紹介し、定期的に学校ホームページの情報を更新する。 【学校説明】学校HPを適宜更新した。積極的に動画を添付し生徒の参加・編集する体制も構築した。 ② 学校行事を保護者や地域住民にも案内し、本校の教育活動に理解と協力を求めるとともに、本校の持つ教育機能を広く地域社会に還元する。地域防災やボランティア活動への積極的な参加を推進する。 【学校説明】学校案内を関係分掌・学年・部活動顧問の協力により完成した。写真やデザインを充実させたい。 ③ PTA総会・地区PTAを通じて保護者や同窓会員に学校の教育方針・教育内容や学校の現況を伝え、理解・協力を求めると同時に、同窓生・保護者からも広く意見を聴取する。 【学校説明】広報誌を2回発行し、PTA活動や同窓会から総会・親睦会の様子を会員に紹介できた。 ④ 中学生やその保護者に授業を公開する。 【学校説明】1日体験入学・オープンスクールを実施した。次年度に向けてより良い形での実施を目指したい。	A	A	・PTA総会および地区会の出席率は素晴らしい。日頃の学校の積極的なアプローチの賜物と思う。 ・信頼される学校づくりの推進はPTA、同窓会の協力支援が部活動、文化活動に効果をもたらしている。 ・様々な行事への保護者参加率の高いことは、信頼されている一つのバロメーターである。今後も努力を続けてほしい。 ・ホームページが更新されている。また校長先生のブログもいいと思う。 ・運動部の試合結果は、新聞等でよく見かけるが、文化部の成果を目にする機会が少ないと思うので、何か良いアピール方法があればと思う。
10	教育施設設備の充実と安全管理	施設・設備、用具・器具は定期的に安全点検を実施する。また、無駄を減らしリサイクル活動にも配慮する。 【学校説明】校内の安全点検は定期的に実施、保健課・用務員・事務室が危険箇所の把握・修繕に対応した。リサイクル活動やごみの分別の意識醸成は、ボランティア委員会と美化委員会でそれぞれ実施した。	A	A	・教員、用務員、事務職員が安全管理に努めている。

学校から経営まとめ

校長の学校経営構想を受け、副校長・教頭の指示の下、各課・各学年が具体的目標を掲げ、日々の教育活動に取り組んだ結果、教育目標をほぼ達成することができた。開校から4年目を迎え、施設・設備などハード面が完成した中で、ソフト面の充実を図る取り組みが必要である。特にアクティブラーニング研究チームによる公開授業では、授業改善に真摯に取り組むことができた。今後は教職員が一丸となって、生徒の教育に専念し、生徒が自己実現に向かって挑戦し、未来を切り拓くたくましい若者として育ていけるような指導を継続していく。また次期学習指導要領に向けた教育活動も推進していく。さらに10年後の本校を見据え、学校生活を充実させ、生徒一人ひとりの進路実現に一層力を入れることが求められていると思われる。